臺灣日日新報　第一万五千五百七十二號　昭和十八年七月十日（土曜日）　（第二版）　（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）

海鷲、ルビアナ島に進出の敵を攻撃

敵戰闘機卅一機を擊墜

卅一對四の壓倒的戰果

【東京發至急報】大本營發表（七月九日十五時三十分）

帝國海軍航空部隊は七月七日ニュージョージア島ムンダ南方ルビアナ島に進出し來れる敵を攻撃その陣地に全面大火災を生ぜしめその上空において敵戰闘機三十一機を擊墜せり、我方未歸還四機

【東京發至急報】敵が明け暮れる西南太平洋の戰場は、敵の總力をもなほ擧げられ、敵陸海空米英軍が總動員されてゐる、九日午後大本營から發表された敵ルビアナ島への攻撃戰果は敵の攻撃基地であるムンダ南方ルビアナ島に進出した我が海鷲の攻撃であるが、敵は主として六月三十日ソンド、ビラに一部と聯合するに反撃にニュージョージア島ムンダ、ビラ、ルビアナ島に總力を擧げ、敵にとり日本海軍から與へられた大打撃を生ぜしめてこれを撃砕、大なる打撃を與へたが、更に同島その上空において我が海鷲の攻撃であるが

社說

一頓高くデリーへデリー

一

スバス・チヤンドラ・ボース氏の一党は、印度国民軍を率ゐて英印の国境線を越境つつあるとき、世界に異変なる報道を與へたが、その後スバス・ボース氏はビルマにその基地を置き、印度国民軍の総帥として、ビルマ・タイ・マレー・スマトラ・ジヤワ・ボルネオ・セレベス・フイリピンの大東亜諸地域に在住する印度人の指導者として、また印度国民軍の最高指揮官として、大東亜戦争の一翼を担ひ、印度の独立を目指して、英国に対する戦争を開始したことは、既に周知の事実である。

二

ボース氏は、ビルマ・タイ・マレー・スマトラ・ジヤワ・ボルネオ・セレベス・フイリピンの大東亜諸地域に在住する印度人の指導者として、また印度国民軍の最高指揮官として、大東亜戦争の一翼を担ひ、印度の独立を目指して、英国に対する戦争を開始したことは、既に周知の事実である。

三

ボース氏は、この間、印度国民軍の総帥として、また印度の独立運動の指導者として、大東亜戦争の一翼を担ひ、印度の独立を目指して、英国に対する戦争を開始したことは、既に周知の事実である。

産業災害を絶滅

戰力増強安全週間

第一日の行事

森部産奉會長陣頭へ

甘蔗作付面積決定

前期作付　實面積と大差なし

149600甲

甘蔗減反二千甲歩

新竹州へ轉換

重要作物へ轉換

舊港を貿易、漁業港へ

新竹市議が出府陳情

身を削る苦悶

老大英國　秋風落莫

食糧問題に無策暴露

「インド事情」を聽く

英國は印度最大の敵

工業の飛躍期待

新使命負荷の製糖業

開發は着々進捗

南ボルネオの各地

鯉の放流に期待

食糧増産態急對策

企業整備趣旨徹底運動

新竹州商業奉公團動員

燃料及び一般物資の缺乏

人的資源の危機

貯蓄、公債の奬勵

米穀増産と砂糖公團

栽培企業公團の活躍

鐵道病院新設

市況（九日）

今日の映画

「インド事情」を聽く

英國は印度最大の敵

郵船支店長 原田氏と一問一答

記者 申すまでもなく印度の獨立問題は今に始まつた話ではありません、實際英國は印度の獨立運動に對して如何なる態度をとつてゐるのでせうか

原田氏 印度といふ國は永い間英國の植民地として搾取されて來たのであります、今度の印度國民會議派の獨立運動に對しても英國は極力これを彈壓しようとしてゐるのであります、英國の印度に對する搾取の根本精神は「分割して統治せよ」といふ點にあるのであります、印度國民會議派のガンヂー、ネール兩氏の如きは印度の獨立運動に對する最大の敵であるとさへ言つてゐるのであります、英國は印度の獨立運動に對しては極力これを彈壓しようとしてゐるのであります

記者 英國の印度に對する態度は今後どうなりませうか

原田氏 英國の印度に對する態度は今後も變りないでせう、英國は印度の獨立運動に對しては極力これを彈壓しようとしてゐるのであります、英國の印度に對する搾取の根本精神は「分割して統治せよ」といふ點にあるのであります、印度國民會議派のガンヂー、ネール兩氏の如きは印度の獨立運動に對する最大の敵であるとさへ言つてゐるのであります、英國は印度の獨立運動に對しては極力これを彈壓しようとしてゐるのであります

記者 印度の獨立とこれを援助する國の關係について何か

原田氏 印度の獨立を援助するものとしてはソヴィエト聯邦と支那とがありますが、これを印度に利用してゐるやうなことはありません、印度の獨立運動は印度人自身の力によつて行はれてゐるのであります、印度の獨立を援助する國はありません

記者 印度の獨立運動が實現した場合印度と日本との關係はどうなりませうか

原田氏 印度と日本との關係は從來通りであります、日本と印度との關係は從來通りであります、日本と印度との關係は從來通りであります

記者 日本と印度との關係は從來通りであるとのことですが、日本と印度との關係は從來通りであるとのことですが、日本と印度との關係は從來通りであるとのことですが、

軍艦旗の下へ總蹶起

願書に添へた血書

圖南造船養成所全員

【臺南電話】臺南市内の青年學校生徒中、陸海軍特別志願兵を志望する者が續出してゐるが、圖南造船養成所でも生徒全員が「一筆啓上」の願書に「血書」を添へて「海軍特別志願」としたためたのを始めとして、以下續々と血書を添へて志願書を提出したので、關係當局では感激の涙を流してゐる。

【彰化電話】彰化市常會運營研究會では、市内各町内會長が出席して、町内會部會に關する事項を研究することとなつたが、これに先立ち八日午後六時から市内各町内會部會長會議を開き、町内會部會を市内各地に設置して、部會長には各町内會長を當てることとなつた。

【臺中電話】臺中州下の各郡守は、今回の大詔渙發に際し、各地方長官會議の決議に基き、十日から二十日迄の十日間を擧げて、各地方に於ける國防獻金の實行を期することとなつたが、これに先立ち八日から各町内會部會を開き、町内會部會長を通じて、出征軍人遺家族、國防獻金、時局認識、貯蓄奬勵、時局認識等に關する講演會を開催することとなつた。

今一息で七萬

【臺中電話】臺中州下の國防獻金實行狀況については、去る六日の臺中市内二萬七千圓を始め、各地方長官會議の決議に基き、十日から二十日迄の十日間を擧げて、各地方に於ける國防獻金の實行を期することとなつたが、これに先立ち八日から各町内會部會を開き、町内會部會長を通じて、出征軍人遺家族、國防獻金、時局認識、貯蓄奬勵、時局認識等に關する講演會を開催

夕刊 臺灣新報 (二面)
七月九日
(明治一一年五月九日第三種郵便物認可) 臺灣日日新報 昭和十八年七月十日 (土曜日) 第一万五千五百七十二號 (一)

敵機廿二を擊墜破
軍事施設五を炎上
海鷲ブロックス クリークを再度攻撃

【東京發至急報】(七月九日十一時)

帝國海軍航空部隊は七月六日再度北濠洲ブロックスクリークを攻撃し敵戰闘機十六機を擊墜、同重爆機七機を地上擊破し軍事施設五箇所を爆破炎上せり、我方未歸還一機

敵反擊の出鼻を挫く

【東京發】北濠の敵最大根據地ポートダーウインの飛行場七十哩、飛行場が新設した航空基地ブロックスクリークに對し敢行された我が航空部隊は六月廿日以來連日連夜に亘りその施設を徹底的に破壞し去つたが、六日午後再び敢行された我が攻擊隊は敵に大打撃を與へ、大型機十五機を地上に擊破炎上せしめたが六日夜半から七日朝にかけて敵機延百合の大襲

【東京發】北濠の敵最大根據地ポートダーウインの飛行場七十哩、飛行場が新設した航空基地ブロックスクリークに對し敢行された我が航空部隊は六月廿日以來連日連夜に亘りその施設を徹底的に破壞し去つたが、六日午後再び敢行された我が攻擊隊は敵に大打撃を與へ、大型機十五機を地上に擊破炎上せしめたが六日夜半から七日朝にかけて敵機延百合の大襲を企圖したるも我が邀撃戰鬪機隊の活躍により僅かに數機の侵入を許したのみで大部分は我が陣地上空に達する前に反轉逃走した

【東京發】北濠の敵最大根據地ポートダーウインの飛行場七十哩、飛行場が新設した航空基地ブロックスクリークに對し敢行された我が航空部隊は六月廿日以來連日連夜に亘りその施設を徹底的に破壞し去つたが、六日午後再び敢行された我が攻擊隊は敵に大打撃を與へ、大型機十五機を地上に擊破炎上せしめたが六日夜半から七日朝にかけて敵機延百合の大襲を企圖したるも我が邀撃戰鬪機隊の活躍により僅かに數機の侵入を許したのみで大部分は我が陣地上空に達する前に反轉逃走した

大東亞新委員初會合

【東京發】大東亞省設置に關する法律は九日午前十一時より大東亞省において施行され、かくて內閣總理大臣の管理に屬する大東亞省は名實共に發足し、本省開設より新木次官以下三名が出席、新木次官は午前十一時より大東亞省の組織令に基づき大東亞省內各局部課の事務分掌を定めた件に關し閣議の決定を經て發令されたる旨を傳達し、次いで各局長以下の人事發令を行ひ、午後

選手本位の競技一掃
全學徒を適性鍛錬
臺北高校 全島に魁け近く實施

動員　さきに決戦下学徒の勤労と戦力化のため学徒動員実施要綱が決定されたが、これに基き文部省では学徒動員の具体的実施方策を決定、十日午前十時から文部省で全国中等学校長会議を開催、これに臨む。

短縮　それによれば一年生を除いて二年生以上を約一週間勤労に従事させることとなる。また五日間授業を行ひ一日は学生の自由に委ねるが、この日は勤労奉仕に振向けるよう指導する。

編入　さらに学校の統廃合により生じた教員は軍需工場に動員し、学校に残る教員は増加した学生の教育に当ることとなる。

勝利　をめざして大東亜戦争の帰趨が決定されるこの時、学徒の勤労動員は戦力増強の上に重大な意義をもつものである。

笑止・敵の神經戰術
南支軍報道部長談

【重慶八日發同盟】南支軍報道部長は八日左の如き談話を発表した

南支軍報道部長談（八日午後）

去る五月八日敵空軍部隊によつて百五十機が桂林市内に対し無差別爆撃が加へられ、市民二千数百名が殺傷されたが、これは敵空軍が我が軍民の士気を挫折せしめんとする企図に出でたものであつて、敵の神経戦術の一つである。

烈々英國驅逐の氣魄
インド國民軍初の演習

【東京發】インド国民軍は今回インド国内に進撃し、英国駆逐の烈々たる気魄を示すため、インド国内において実戦的演習を行ふこととなつた。

野球、硬庭球は除外
全國學徒體育訓練大會要綱決る

【東京八日發同盟】明治神宮外苑競技場において挙行される全国学徒体育訓練大会に関する要綱は八日左の如く発表された

南支軍報道部長談（八日午後）

去る五月八日敵空軍部隊によつて百五十機が桂林市内に対し無差別爆撃が加へられ、市民二千数百名が殺傷されたが、これは敵空軍が我が軍民の士気を挫折せしめんとする企図に出でたものであつて、敵の神経戦術の一つである。

増産へ學徒も動員
各中等學校で甘藷栽培

【東京】学徒動員実施に伴ひ、行政協議会において決定された食糧増産のため、学徒動員の一環として各中等学校では甘藷栽培を行ふこととなつた。

陸軍少年兵は語る
我を疑ふ軍服姿〝恐い學校〟の認識

入校當時の印象と感銘

勇躍出撃する我が潜水艦

（陸軍省海軍省提供寫眞）

敎化陣の尖兵錬成
神國日本の精神を聞明注入

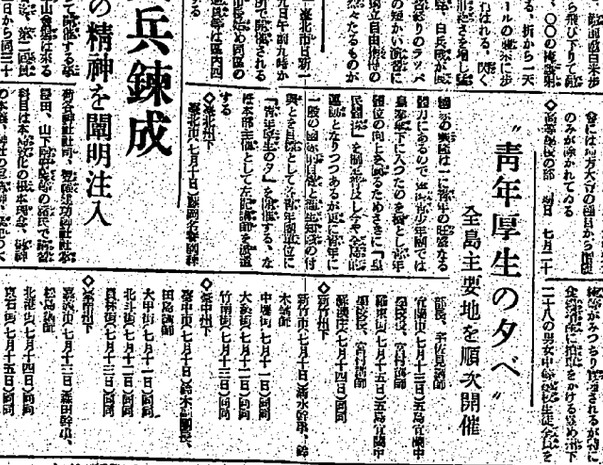
愛國廣東號の殊勳
獻納命名式前に敵機撃墜

家代々劍道の名家
宮脇部隊長を語る令兄

友森陸軍省兵備課長送放採用
大空の決戦・愈よ熾烈
學園より陸鷲へ
學生に高度の奮起要望

海軍航空隊傷學生志願者に特別便宜

青年厚生の夕べ
全島主要地を順次開催

後二國志
（出師の卷）
吉川英治作　矢野倫村畫

（145）